3「親しまれる開かれた議会のために」

前頁より続き

③町民も参加できる政策研究会の開催

④模擬公聴会の導入（一般質問に対して不明な点を休憩中に町民が質問できるような形式）

⑤議会報リニューアル（議員の取材による町民と議会をつなぐページなど）

Voice 町民の声

松川新町政に期待しています

高橋　肇さん（JAめまんべつ専務理事）

今年4月に町長、町議会議員選挙がおこなわれ、松川新町政がスタートして約3ヶ月が経ちましたね。町議会も一新された大空町の新たな船出に町民の一人として、大いに期待しています。

今、世の中は新型コロナウイルスの収束が見えず、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響で燃油高騰、多品目に渡る物価上昇で、出口の見えない不安の中にあります。この状況を何とか切り抜けていくためにも、行政、町議会と農協、建設業、商工会などの民間が互いに協力していかなければならないと思い、私も微力ながら協力できればと考えております。

大変厳しい時代ですが、これから10年、20年先の大空町が今よりも住みやすい街になっているように、松川新町長、原本新議長をはじめ、町議会議員の皆さんよろしくお願いします。

なつかしの校舎

女満別町立湖南小学校

大正９年に女満別小学校所属湖南特別教授場として設置され、昭和27年に湖南小学校として独立しましたが、交通機関の発達により生徒数が減少し、昭和39年に女満別小学校に統合されました。

企業広告⇒

営業品目

・建築資材の販売　・杭工事　・内外装仕上工事
・地盤改良工事　・家具工事　・防水工事
・厨房設備工事　・断熱工事

ハウス・デポ「フラット35」取扱店
住宅完成保証「ハートシステム」取扱店
通気断熱WB工法特約店

株式会社 iwahara 岩原

代表取締役　村田龍哉

〒099-2310
網走郡大空町女満別本通４丁目１番７号
TEL 0152-74-4012　FAX 0152-74-2004

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

皆さんは大河ドラマを見られていますか。

現在は、三谷幸喜さんが脚本した鎌倉殿の13人が放送されています。平安末期から鎌倉前期を舞台に、歴史書「吾妻鏡」をベースとした源平合戦と鎌倉幕府が誕生する過程で繰り広げられる権力の座を巡る駆け引きを、その勝利者、北条義時を主人公として展開するユーモアを交えたホームドラマのような描写とともに、徹底して無情で陰惨な粛清劇が描かれる作品です。

今後どのようになっていくのか楽しみにしていますが、議会だよりも同じように皆様が手に取って、次はどのようになるのだろうと期待させる編集が広報委員会で出来たらと思っています。（上地）

議会広報常任委員会
私たちが編集しました

議長　原本哲己（発行責任者）
委員長　鈴木秀之
副委員長　上地史隆
委員　森賀祐司
委員　福田淳一
委員　大泉知功

今後ともよろしくお願いいたします。

UD FONT　本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」第65号
発行／大空町議会　編集／議会広報常任委員会　印刷／株式会社須田製版
住所／〒099-2392　北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号　TEL(0152)74-2111　FAX(0152)74-2191　ホームページ　http://www.town.ozora.hokkaido.jp

↑町民の声を取り上げ、企業広告も入る議会報
（北海道大空町　議会だより）

4「そして時代の流れとともに」（5項目）

①タブレット端末の導入によるペーパレス議会（希望者は紙も併用）

②オンライン議会の開催（総務省のガイドラインに従い、委員会や一般質問に限り議員の事情を考慮）

③議会BCP（議会機能継続計画）の立案（感染症の拡大を含む危機管理に強い議会）

④議会報への有料広告掲載（町内企業等を対象に募集する。右図の大空町議会だより参照）

⑤Change.orgなどを活用した電子請願を受理するための制度設計

以上、簡単にではありますが、公約をまとめました。

これら21項目を町民の皆様と議員皆様への公約として掲げ、5月10日に開催される臨時会の議長選挙に臨む所存です。

所信表明会が開催されない場合も想定されます。その際には、町民の皆様と議員各位にあらためて私の思いを伝えさせていただきます。

浅学非才の身ではありますが、美瑛町自治基本条例を尊重し、町民の信託に対する自らの責任を果たすべく、公職者として、常に町民意思の的確な把握及び自己研鑽と政策提言の充実に努めます。

また、倫理観を胸に、誠実にその職務を行い、自らの発言及び行動に責任を持つことをここに誓います。

四年間を新たな新たな気持ちで、町民の皆様のために、美瑛町議会議員として精進して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年5月1日

青田知史　拝